







新鑄増補脈論口訣卷之五

○醫家ノ必用

△運氣論曰百病ハ氣ヨリ生ズルト云。  
 然ルニ惣ジテ。氣ノ順流セザル則ハ  
 鬱結ス。氣鬱結スル則ハ熱ス。故ニ  
 諸病皆挾火セスト云フナレト  
 へハ熱ノ多ク少アリ。表熱。裡熱アリ。  
 上部ノ熱力。中部ノ熱力。下部ノ  
 熱力。又ハ臟ガ熱スルカ。腑ガ熱ス  
 ルカ。又ハ實熱力。虛熱力ノ分別等  
 ハ脈ニテモ病ニテモ。ヨク心得ヘキ也  
 △先諸病ヲ告来。則ハ病ノ付タル時ト。  
 日ヲ問テ。子ヨリ巳ノ時ニテハ陽  
 分ニ煩付ハ其病腑ニ有ヘシ。是ヲ





熱ヨリ起ルト心得ベシ。午ヨリ亥ノ  
時ニテハ陰分ニ病付ハ其病ニ臟ニ  
アリト心得ベシ。是寒ヨリ發ルト分  
別セヨ。是ニモ内向外内ノ分別セ  
ヨ。内肉外肉ノ事ハ書ニ存ノ間  
記スニ及ハス。此外不附外由ト云フ有  
病源候論ニ委シ  
△サテ次ニ病、起醒ヲ問テ。起醒  
ノ時節ニヨリ。陽分陰分ノ分別  
ヲ以テ。熱ヨリ起ルカ。寒ヨリ起  
ルカノ事ヲヨクク辨ヘキ也。

△次ニ病者ハサカレキカ。レヅカナル  
カ。身アツカイユルヤカナルカト問テ。  
身アツカイ騷キト云ハ熱ト心得。又  
レヅカナルト云ハ虛ニタル病ト心得ヘ

シ。身ホメクベシ。是ハ虛熱カ。實熱カ  
ノ分別ヲスヘキナリ  
△病者ハグラキ処ヲ好ムカ。哪キ処  
ヲ好カト問ベシ。昏キ處ヲ好ムト  
云ハ臟ニ病アリト心得。明キヲ好  
ムハ腑ニ病アリト知ベシ

△吞食物ヲバアツキヲ好カ。又ハ  
ツメタキヲ好カ。冷水ヲ吞カト問  
テ。アツキヲ好ムハ底冷テ血壅シ  
タル病トシルベシ。冷物ヲ好ムハ外  
邪入裡ソコ熱シタルツト心得ベシ。  
是モ何レニ熱スベシ。此是ヲ客熱ト  
云フ。次ニ病者ノ色ヲ見テ。其色ニヨリテ。  
五臟ニ付テ。病ノ在処ヲ分別セヨ。



サテ脈ヲ見テ三部九候ノ分別  
アルベシ。是右ニ云。望聞問切ノ法  
也能以簡辨アルベシ

△醫學發明曰夫百病晝ハ甚シク  
夜ハ靜成ハ。是陽ノ有余ナリ

△百病夜ハ甚ク晝靜ナルハ。是陰ノ  
有余也。則血ハ病テ氣ハ病サル也

△百病晝ハ發熱シ夜ハ醒ルハ。是陽  
氣自陽分ニ旺スルノ病也

△百病夜ハソノ口寒ク晝ハ意ヨキ  
起陰血自陰分ニ旺スル病也

△百病晝ハ醒テ靜ニシテ夜ハ發熱  
煩燥スルハ。是陽氣降リテ陰中ニ  
ヲチイタル。是熱血室ニ入ト云

△百病夜ハ心ヨクシテヒルハ甚ソノ口  
寒キハ。是陰氣上リ。アフレテ陽ヲ  
オカスナリ

△百病夜晝トモソノ口寒クハ重  
陰ニシテ陽ナレ。スミヤカニ其陰ヲ  
瀉シ。急ニ其陽ヲ補フベシ

△百病晝夜トモニ發熱煩燥スルハ  
是重陽ニシテ。陰ナレ。スミヤカニ其  
陽ヲ瀉シ。急ニ其陰ヲ補フベシ

右諸病ヲ治スルニ。脈ヲ辨ヘ病ヲ  
明メ。ナラ其止ニ此血氣陰陽ノ分

別ヲ詳ニセバ。治セスト云事ナレ  
△臟氣法時論曰。肝病ハ平且ハ靜テ  
申ノ刻ハ甚ク。夜半ニ又靜ナリ



△心病ハ日中ニ意ヨク夜半ニ甚ク  
平旦ニ又レツカナルベシ

△脾病ハ戌ノ刻ニ心ヨク日ノ出ニ  
甚ク申ノ刻ニ又レツカナリ

△肺病ハ申酉ノ刻心ヨク日中ニ甚  
ク夜半ニレツカナリ

△腎病ハ夜半ニ心ヨク丑未辰戌ノ  
刻ニ甚ク申ノ刻ニレツカナリ

右是相生相尅ノコトハリ也

△又曰肝病ハ丙丁ニイユ丙丁ニイエ  
サハ庚辛ニツヨシ庚辛ニ死サレ

ハ壬癸ヲダモツテ卯辰ニ起ベシ  
△心病ハ戌巳ニイユ戌巳イエサレハ壬  
癸ニツヨシ壬癸ニ死サレハ甲シヲ

タモチ丙丁ニ起ベシ

△脾病ハ庚辛ニイユ庚辛ニイサレハ  
甲シニツヨシ甲シニ死サレハ丙

丁ヲタモチ戊巳ニツクベシ  
△肺病ハ壬癸ニイユ壬癸ニイサレハ

丙丁ニツヨシ丙丁ニ死サレハ戌巳  
ヲタモチ庚辛ニツクベシ

△腎病ハ甲乙ニイユ甲乙ニイサレハ  
戊巳ニツヨシ戊巳ニ死サレハ庚辛

ヲタモチ壬癸ニツクベシ  
△又曰肝病ハ夏イユ子ノ火親ノ賊

邪ノ金ヲ制スル故也夏イエサレ  
ハ秋ニ甚シ子ノ火休メ賊邪ノ金

秋ハ旺スル故也秋死サレハ冬ヲタ



タモツ。賊邪ノ金休。母ノ水腫スル  
故ニ春ニテリテラク。肝木自其位ラ  
ウル。故ニウクル也。

右此肝病ニ餘藏ノ病ナゾラヘ可  
知  
○醫者病家ニ出入ノ法

△凡醫者イマダ病家ニ入ズシテ先  
ロラス、キ手ヲ洗ヒ。天ニアライテ  
祝スベシ。門ノミ中ノ邇ニ立ヘカ  
ラス。坐スル時壁ニヨリカ、ラス卧  
時ヲビヲトクベカラス。衣裳ヲロ  
上ニテ覆フベカラス。婦事ノ念ヲ  
オコスベカラス。貪欲ノ心ヲ生ズベ  
カラス。嗔心ヲ生ズベカラス。飲食ア  
ラバ必ハカユキニ食セズイキニテ。フ

イテ。其後用ユベシ。行事アラハ歩  
ヲシツカニスベシ。初テ告来ルノ  
時。アハタ、シクトモ。其病上ヲ問  
極ムベシ。行事ノ緩急其品ニシタ  
ガフベシ。古語曰。醫者不入於刑官  
之家。藥者不療於不仁之病。ト云  
然レバ刑戮ヲ專トシ。慈悲ノ心ノ  
ナキ者ニハ。天道ヨリ。大病ヲノツカ  
ラ來ル。故ニ醫者出入スベカラス。藥  
モ又因果ヲ以テ生ズル病ヲハ。治ス  
ルコトヲユルサズ。

○諸病ノ惡候

△凡病者足ノ甲足ノ裏腫。身重ク  
大便タモタズ。眼ハ腫ヲ轉ジ身ノ



悪クサキハ皆死証ナリ。ニカブラ  
ヲチ入目。鼻其口黒ク龜々ノタ  
ハ言云イ。又一向ニ物イハズ口ノ  
マクレイルハ危シ。又久病ニ兩ノ  
頬赤キハ齒シ。口ヲアキハリ息ス  
クニ足膝ハレフク。身體ハレテ小  
便イテ面ハ赤ク。眼ハ白ク。面青ク  
目黄三眼ニ光ナク。面先青クシテ。  
後ニ黒ク。齒莖黒ク。鼻ノ下人中  
アトナク。唇青ク。身冷シ。ビリイガ  
シ。衣ヲ摩。床ヲ搜リ。食事ヲ見テ  
ウシロムキ。髪スク。三麻ノ如ク。ウチシ  
ノ筋ノビ。手ノ中ニ皺ナク。手足瓜  
青ク。黒背骨ヒイラキ。腰痛三面

黒ク。目白シ。唇ユガレ。腫テ黒シ

右此病証多クハ死証也

○五藏ノ絶症

肝絶ノハ面腫青黒ク。舌一ガリ青。  
手足ノ力弱ク。目ニイ涙多シ。

心絶ノハ面ツシ三黒ク。唇ニテ息シ。

目見張手ノ中皺ナク。タハコトツキ

脾絶ノハ臍腫足ノ甲腫面黄腫大便  
下ルヲ不知肌ニブリ。唇ソル

肺絶ノハ口鼻ヨリ息出テカヘラス唇  
ソリ。皺ナク。皮毛コカレ。爪カルナリ

腎絶ノハ面黒ク。齒痛。三目シイ。汗出  
ル。木ノ如ク。腰ヲレ。皮肉ヤハラカニ

髪カルナリ。已上久病ニ此症  
アレバ必ス死スヘキ也



▲心ノ實ハ脈サカシ也。心ノ虛ハ脈細キ也。  
▲肺ノ實ハ皮熱ス也。肺ノ虛ハ皮寒ル也。  
▲脾ノ實ハ腹ヲクシ堅シ。脾ノ虛ハ飲食不納。  
▲腎ノ實ハ二便通ゼズ。腎ノ虛ハ二便不持下。  
▲肝ノ實ハ目暗ク悶ユ。肝ノ虚ハ鼻息少。  
右五藏ノ實究若藥ニテ二便漸通  
ニテ。腹和クハ生ヘシ。五藏ノ虚究若藥  
ニテ少シ食事モヲサマリ。二便モ漸  
トニニラハ生ヘシ

○諸病胃ノ氣ヲ多ク事

▲丸藥ニテ病ヲ治スルニ其藥忽スクニ  
病ノ処ニ行事ナシ先胃ニ入テ變化  
ノ漸ク病ノ処ニ行タトハ病ヲ見分  
脈ヲトリ明メ必効ノ藥ヲ與フルニ

効ナキハ胃ノ氣虚ノ藥ガシ運化  
セズ。徒ニ二便トナリ下ルベシ。其時  
ハ本病ヲ閣キテ胃ノ氣ヲ調ヘテ。  
本病ハ減セスト云トモ少食事ノ心  
有バ。備ハ胃ニ力出來リト心得テ  
本病ノ藥ヲ用ユベシ。其ニモ胃ヲ多  
スクル藥ヲ少加フベシ

○兩腎ニ補ノ分別

▲左ノ腎ハ水ニ屬シ。右ノ腎ハ火ニ屬  
スル故ニ腎虚スレバ水スタクナリ。  
身ノ内燥ク命門虚ノハ下焦ノ陽  
氣衰ヘ小便タモチガタク。精氣漏シ  
易シ然レバ世ニ房事ツニニ食事ツ  
スタクナシ者ハミレナリ。故ニ精血カク



損<sup>シ</sup>相火<sup>ヲ</sup>タカブリ旺<sup>シ</sup>テ。虛損<sup>ノ</sup>勞<sup>ヲ</sup>瘵<sup>ヲ</sup>嗽<sup>シ</sup>血<sup>ヲ</sup>等<sup>ク</sup>ハ發<sup>ル</sup>。故<sup>ニ</sup>丹溪<sup>ハ</sup>補<sup>陰</sup>ノ説<sup>ヲ</sup>アガメ。左腎<sup>ノ</sup>水<sup>ヲ</sup>補<sup>フ</sup>古方<sup>ノ</sup>補藥<sup>ト</sup>多<sup>ク</sup>ハ右腎<sup>ノ</sup>相火<sup>ヲ</sup>補<sup>フ</sup>。但<sup>シ</sup>世人<sup>ノ</sup>病<sup>ハ</sup>火旺<sup>シ</sup>タル者<sup>ト</sup>。十人<sup>ニ</sup>九人<sup>アリ</sup>。火<sup>ヲ</sup>衰<sup>ス</sup>ノ病<sup>ハ</sup>百人<sup>ニ</sup>二三<sup>人</sup>モナシ

○倉公三死ノ説

史記百一巻列傳曰淳于意字平倉公扁鵲同時ノ人也

病<sup>ニ</sup>藥<sup>ヲ</sup>服<sup>スル</sup>フヲウチガハサルハ是<sup>レ</sup>ノ死<sup>証</sup>也

巫<sup>ヲ</sup>信<sup>メ</sup>醫<sup>ヲ</sup>信<sup>ゼサル</sup>ハ二<sup>ツ</sup>死<sup>也</sup>

身<sup>ヲ</sup>輕<sup>メ</sup>命<sup>ヲ</sup>ウスク<sup>レ</sup>敬<sup>ミサル</sup>ハ是<sup>レ</sup>三<sup>ノ</sup>死<sup>症</sup>也

如此<sup>ノ</sup>輩<sup>ハ</sup>証<sup>テ</sup>藥<sup>ヲ</sup>與<sup>ヘ</sup>瘵<sup>治</sup>スト云

トモ効<sup>ヲ</sup>得<sup>ガタシ</sup>

○未病<sup>ヲ</sup>治<sup>スル</sup>ノ説

言<sup>フ</sup>ツ、シニ。飲食<sup>ヲ</sup>節<sup>シ</sup>ニ。風寒<sup>ヲ</sup>防<sup>ギ</sup>形<sup>ヲ</sup>勞<sup>セ</sup>ス。心<sup>ヲ</sup>ツクサズ。房事<sup>ヲ</sup>遠<sup>サ</sup>ク。右<sup>ニ</sup>是<sup>レ</sup>未病<sup>ヲ</sup>治<sup>スル</sup>ノ大道<sup>也</sup>。丹溪<sup>云</sup>病<sup>有</sup>テ後<sup>ニ</sup>治療<sup>セ</sup>シヨリ<sup>ハ</sup>敢<sup>テ</sup>病<sup>ナ</sup>キヲ攝<sup>養</sup>セシハシカ<sup>レ</sup>ト。又<sup>肝</sup>ノ病<sup>ヲ</sup>見<sup>テ</sup>脾<sup>ニ</sup>ツタヘシ<sup>フ</sup>ヲ知<sup>テ</sup>。アラ<sup>カ</sup>ジメ脾<sup>ヲ</sup>健<sup>ニス</sup>。是<sup>モ</sup>未病<sup>ヲ</sup>治<sup>スル</sup>ノ一通<sup>也</sup>。委<sup>ハ</sup>內經<sup>陰陽應象大論</sup>ニ見<sup>ヘ</sup>タリ

○六失<sup>ノ</sup>論

醫<sup>ヲ</sup>信<sup>ゼサル</sup>ニ失<sup>シ</sup>。瘵<sup>治</sup>ノ遲<sup>キ</sup>ニ失<sup>シ</sup>。醫<sup>ヲ</sup>擇<sup>ハサル</sup>ニ失<sup>シ</sup>。已<sup>上</sup>三<sup>ノ</sup>失<sup>シ</sup>



病者ノ失也。○病ヲ知ラザルニ失  
ニ。藥ヲ知ラサルニ失。詳ニテサ  
ルニ失ス。已上三八醫者ノ失ナリ  
右六失ハ本州綱目ニ見ヘタリ

○養生ノ論

衍義云、養生ノ道多シト云。凡約ニ  
シテ是ヲ云ニ其術三アリ  
一ハ神ヲ養ニ氣ヲ慎ニ三ハ防病  
○神ヲ養上云ハ智惠ヲサリ。貪欲ヲ  
滅シ七情ヲ忘レ諸事ヲステ。恬  
澹虚無ニ真ヲ全クスルヲ云ナリ  
○氣ヲ慎ムトハ元氣ヲタモチ精ヲ  
漏サズ眼耳鼻舌身意ヲ悉思レ  
識界ヲムナシクスルヲ云也。

○病ヲ防グトハ飲食ヲ節テ。温涼ニ  
カナイ。四立ニ至ニ分ノ八節ニ盡邪  
賊風ヲツシミシテ寢シテ醒ヘ  
カラス。已上各イカニモタヤスク行ヒ安  
ナレトモ世ニ行フ者希也

稽康カ云穠年ニ病多シ。飢年ニ  
ハ疾少シト寔ナル哉。儂リナラス  
關中土地ノ俗ハ万トモシキニ依テ  
食ノ味薄ク其人病少ク命ナガシ  
江南嶺表ハ諸事ユタカニ充滿シ  
テ山海ノ珍物具ラスト云フナ  
レ故ニ其人疾多シテ早死ス。遊  
官シテ彼ニ至ル者ユタカナルニツイ  
テ。ロラ慾ニシテ病ヲ生ス



私云近代飽年ニ疫癘疫病ス。  
右此論違フト云。天下俄ニ饑  
飢ヲ苦。是天地ノ氣循環せざる  
ニ依テ。七情勞倦シテ。外邪ニサ  
ソハル。ナルベシ。元氣ヲツヨク。共六時  
疫癘疹ノ時。花物ハ通ルベシ。然ハ  
累年ノ例ニハアラサル。一歟。  
右云ニ。習テ。食事ヲツシムヘシ。古語  
曰。病ハ口ヨリ入。穢ハ口ヨリ出ルト。  
道林カ云。食スル時。語ルヘカラス。語レバ  
胸背共ニ痛ム。卧テ多言。笑フヘカ  
ラス。五臟ハ鐘ノ如シ。不懸トキハ。声ヲ  
發スヘカラス。行トキ。語ヘカラス。若。譁  
足ヲトムベシ。語ナカラ行ハ。氣ヲ失ス。

朝トクヲキタラバヨキ事云ベシ。晨  
ニ空腹テ。錢ヲカソヘ。カラス。食事  
ハ少ツ。細々。用ユベシ。頓ニ多用ハ  
消シガタシ。食スルゴトニ。諸肉ヲ重  
用ユヘカラス。ヨク飯ヲ食シテ。野菜  
ヲ少ク用ユベシ。然ラサハ。百病ヲ生  
飽滿シテ。即卧ハ。消スシテ。積聚  
トナル。食シ終ラバ。手ニテ。面ト腹トヲ  
サスル。津液流通ス。暮ニ。卧時。常ニテ  
ラヒテ。口ヲトツベシ。口ヲ開ハ。氣ヲ失  
邪惡入。久シク。消渴トナル。又血ノ  
奄ヲ失ス。唾ヲ遠ク吐ヘカラス。手足  
ヲモク。背痛合。エタル時。ハ。跪テ。小  
便ス。飽滿ノ時。ハ。立テ。小便ス。是ラ



ツ、トバ無病也飽滿ニテ髪ヲ濯  
ヘカラス飢テ馮ラアフル事ナカレ冬  
至ノ日人來リ問フ有ハ答ヨ自物  
ヲ云ベカラス常ニ不足ナリト思フ  
ベカラス春不足ナル心ヲコレトモ是  
ヲオサヘヨ人ト不足事ヲ知レバ天道  
ヨリ其祿ヲクルナリ。康桑楚  
云聖人声也滋味ニラケル。性ニ  
刑アル時ハ是ヲトリ。性ニ害アル時  
ハ是ヲスツ。是全性ノ道ナリ  
○玉機微義云六月ハ未ニ屬ス土  
大ニ旺ス土旺スル時ハ水衰フ又腎  
水ノ母肺金也腎水ノ不足ヲハ  
肺金是ヲ補助ス故ニ古人ハ五六

月。独宿淡味金水ノ二藏ハ火土旺ス  
ルヲキラフ心脾也。○又十月ハ亥ニ屬  
シ。霜月ハ子ニ屬ス。陽氣トチカク  
テ。真元ヲ養フ。未春發生スベキ  
モトヲナス。此時房事ヲ慎三元精  
ヲ損ハサル根本。盛シテ氣カレ  
レク。ウカバスイツクシテ温熱ノ病有シ  
○暮テハ努ク飽滿スルヲナカレ湯  
ニ髪アラヒ。風ニ當ルヲナカレ燈火  
ヲカケテ。淫事ヲカスヲナカレ  
臥終テ燈火ヲトムベカラス

○五藏ノ補瀉

肝ハヒキツルニ苦ム其州ニテユ  
ルクセヨ。若散セント欲セハ川芎ニテ



散せヨ。細辛ニテ補へ。芍薬ニテ瀉  
せヨ。

▲心ハユルキ事ヲ苦ム。五味子ニテ納  
ヨ。若輒ナラシテヲ欲せ。ハ芒硝ヲ  
以テヤハラナヨ。沢瀉ニテ補ヒ。人  
参ニテ瀉スヘシ。

▲脾ハ湿ヲ苦ム。白朮ニテ乾ス。ユルヤカ  
ナラシテヲ欲せ。ハ甘草ニテユルクス。  
人参ニテ補ヒ。黄連ニテ瀉ス。

▲肺ハ氣ノ逆上スルヲ苦ム。黄芩  
ニテ下ス。モシ納シテヲ欲せ。ハ芍薬  
ニテ納ヨ。五味子ニテ補ヒ。桑白皮  
ヲ以テ瀉スヘシ。

▲腎ハカクヲ苦ム。知母。黄柏ニテ

潤ス。若カタカラシテヲ欲せ。ハ知母ニ  
テカタメヨ。黄柏ニテ補フ。沢瀉ヲ  
以テ。是ヲ瀉スヘシ。

○臟腑ノ火ヲ瀉スル藥種

▲黄連ハ心火ヲ瀉ス。○木通ハ小腸ノ火  
ヲ瀉ス。○山梔子。黄芩ハ肺ノ火ヲ瀉  
ス。○黄連。黄芩ハ大腸ノ火ヲ瀉ス。  
○柴胡ハ肝ノ火ヲ瀉ス。○柴胡。黄  
連ハ膽ノ火ヲ瀉ス。○白芍薬ハ脾ノ  
火ヲ瀉ス。○石膏ハ胃火ヲ瀉ス。知母ハ  
腎ノ火ヲ瀉ス。○黄柏ハ膀胱ノ火ヲ瀉  
ス。○柴胡ハ三焦ノ火ヲ瀉ス。

○十劑ノ事

▲宣通。補瀉。經重。滑澁。燥湿也。



▲宜ハ癭ヲ去ヘシ生薑橘皮ノ屬也。  
 ▲通ハ滯ヲ去ヘシ木香降香ノ屬是ナリ  
 ▲補ハ弱キヲ去ヘシ人參羊肉ノ屬是也  
 ▲瀉ハ閉クヲ去ヘシ葶藶大黃ノ屬是也  
 ▲輕ハ寔ヲ去ヘシ麻黃葛根ノ屬是也  
 ▲重ハ怯ルヲ去ヘシ磁石鉄漿ノ屬ナリ  
 ▲滑ハ著ヲ去ヘシ冬葵子榆白皮ノ屬也  
 ▲澁ハ脫ヲ去ヘシ牡蠣龍骨ノ屬是也  
 ▲燥ハ濕ヲ去ヘシ桑白皮赤小豆ノ屬也  
 ▲濕ハ枯ルヲ去ヘシ白石英紫石英ノ屬  
 ▲寒ハ熱ヲ去ヘシ大黃朴硝ノ屬也  
 ▲熱ハ寒ヲ去ヘシ附子官桂ノ屬也

○五味ノ用

▲苦キハ瀉ス酸キハ収ム辛キハ散ス鹹ハ

軟ク甘キハ緩クシ發ス

○食前後服藥ノ分別

△病上焦ニアラハ食事ヲ先ニ藥ヲ後ニスベシ

△病中焦ニアラハ藥ヲ先ニ食事ヲ後ニスベシ

△病下ニアラハ藥ヲ火ツ、頻數ク用

△病下ニアラハ藥ノ間遠ク一度ニ多用  
 右食前食後トアレバトテツ、ケテ  
 ハ用ニベカラス。食氣消シテ藥ヲ用ヨ  
 氣散ジテ。食事ヲス、メヨ。病手足ノ  
 血脉ニアラハ朝空腹ニ藥ヲ用ユベシ。  
 病骨髓ニアラハ夜中飽滿ノ上ニ藥  
 ヲ用ユベシ



○藥氣藥味ノ分別

△藥氣厚キハ陽中ノ陽也。其能ハ發熱ス。辛甘キハ溫熱ノ類也。

△藥氣薄キハ陽中ノ陰也。其能ハ發泄ス。辛苦キハ平寒ノ類也。

△藥味厚キハ陰中ノ陽也。其能ハ泄ス。酸苦鹹ハ寒ノ類也。

△藥味薄キハ陰中ノ陰也。其能ハ酸苦鹹シ平ノ類也。

氣ハ天ノ陽ナリ清タリ。故ニ上ニシテタシクニテ升ラシテ發スル也。

味ハ地ノ陰ヨリウチタリ。故ニ下ニシテタシクニテ下ラシテ發スル也。人ノ神氣ハ陽ヨリ請タリ。故ニ神氣ノ虛ニ

タルヲハ藥氣ニテ專治スベシ。人ノ形陰ヨリ請タリ。故ニ形ヲトロヘタル人ヲハ專藥味ニテ可治ス。

○生熟ノ分別

△頭面及手足ノスエ皮膚ノ病ヲ治スルニ黃芩。黃連。黃蘗。知母ノ類ヲ用ニ

ハ酒カヲカルベシ

△下焦ヲ治シ。裏ヲ治スルニ生ニテ用ユベシ。大黃ハ大使結スル用藥也。胃ノ氣

野キ人ニ酒ヲソ、ギ、ウイノ用ニベシ。知母。地黃ハ下部ノ用藥。虛人久病ナ

トニハ。胃ノ氣ヲタシテハ。故ニ酒ノカヲカル也。右諸病ヲ治スルニハ。此生熟ノ例

習テ意得ヘシ



○藥根三停ノ分別

△苗ヲ生ズル処ヲ根ト云。上焦ニユキ。尿  
上ニユク。尾サキノ方ヲ梢ト云。下焦ニ  
ユキ。尿ノ下ニユク。根ト梢トノ間ヲ身  
ト云。中焦ニユク也。右用藥ノ時。當  
歸。防風ノ類ニ根ヲ用。尾ヲ用ト云ハ  
是也

○湯丸散ノ論

△煎藥ニ酒ヲ加ルハ至高ニ至ラシメシ  
ノ意也。始ヨリ入レハ藥ノ味アレクナル  
也。煎ジテ後ニ入ルナリ  
△生姜ヲ入ルハ濕氣ヲサシメガタメ也  
△棗ヲ入ルハ元氣ヲ補ハシガタメナリ  
△葱ノ白ヲ入ルハ風寒ヲ發散ス也

△小兒ノ尿ヲソユルハ上焦ノ火ヲク  
ダサシガタメ也。医書ニ童便ト有

△散藥ハ風冷ヲ散スル心也。腹中  
ニ至ンサキニ。口中。咽喉ノ間ノ氣

ヲ散メ。後内腹ニ細シメシガ爲也。  
若手足ノ病久クナラズ。表裏ニ

ウツリ趨ハ散藥ヲ以テ是ヲ平  
下焦ヲ治スル散藥ナラハ鹽湯ニテ

用ヨ。方中散藥ノ処ニ。刀圭トアラ  
公方寸ニスクヒノ事也。惣シテ唐ニ

一兩トアルハ。和ノ十錢目ナリ  
△丸ハ緩也トテ。積聚癥瘕万ノカタ

マリ痛ヲユルクトスル意也。其病  
ノ在処ニ至リテユルクトケテ效有

ノ在処ニ至リテユルクトケテ效有



上焦ノ丸藥ハイカニモ火ク丸テヨシ。  
下焦ノ丸藥ハ大ニ丸メテヨシ。中焦ノ  
丸藥ハ中ホトニ丸テ用ユベシ。調糊ハ  
イカニモ強キ糊ナリ。建クトロカニテ。  
下焦ニイタラシメシノ意ナリ。糊ヲ酒  
ニテ子ルコト。升散サセシメシノ用也。  
蜜丸ノ意ハ諸藥ヲ調和シ中ヲ補  
ヒ脾ヲトシヘシメシ爲也。酸糊ハ收斂  
サセシメシ爲也。○黃蠟ニテ藥ヲ丸ス  
ル意ハ腹中ニテトロケ難カラシメシ  
爲也。タトエバ毒アルノ藥ニテ。下焦  
ノ病ヲ治スルニ蜜ニテカ。糊ニテカ。  
丸スルハ病ノ有処ニテ至ラズレテ。  
サキニ上焦中焦ノワザハヒラナス故ニ

黄蠟ニテ丸スル也。○姜汁ニテ糊  
ヲ子ヤス意ハ濕ヲサシメシ爲也。又ハ  
半復ノ毒ヲ消セシメシノ故也

○煎藥生熟ノ分別

△夫急病ヲ治スル瀉下發散ノ藥ハ  
一包ニ水一升入タラハ七分バカリニ成  
テ用ユベシ。藥性ヲサシメ子リヤワラ  
ケレトノ意也。中ヲアタメ。下焦ヲ補  
藥ヲ煎ズルニハ一包ニ水一升五合バ  
カリ入テ七分ホドニ煎ジツメテ用ユ  
ベシ。藥性ヲヨク子リ熟セシメナリ。  
藥ヲ少シク用レバ消下シ安シ。  
ヌルケレバ胸ニアタリ。カラエツキヲチ  
ス。万ノ藥ヲ煎シ。藥ヲ水飛シ服シ



洗フ水ナドニハ必井華水ヲ用テ  
ニ曉イニダ液ザルサキノ。下番ノ二瓶  
クミタル水也

○服藥ノ間ノ食法

△夫煎藥ヲ用テ病ヲ療治セシニハ。  
其間ノ粥。飯。及野菜イカニモ軟カ  
ニ煮過シテ用ヨ。ナニシテハ藥性  
ヲ損ズ。又消シガタケレハ胃氣ヲ苦  
ミシムル。又其間ハ塩。醋。ヲウスクレ魚  
鳥野菜ヲ常ヨリモスクナク用ニ  
シ。又心ヲツクサズカヲ勞スヘカラス。  
服藥ノ間ハ只專ニ藥ガヲ始トスニ

○六陳

△狼毒。吳茱萸。半復。橘皮。枳實

麻黃。已上六種イカニモフルキヲ用。  
藥性强クテ毒アル也

○八新

△紫蘇。薄荷。菊花。桃花。赤小豆  
槐花。澤蘭。疑各花

已上陳キヲ用サレ

○十八反

△芍藥。苦參。人參。沙參。玄參。細辛  
右六種藜芦ト相反ス

△半夏。瓜蒌。貝母。白及。白斂

右五種烏頭ト相反ス

△大戟。芫花。海藻。甘遂

右四種甘草ト相反ス

已上此ヲ十八反ト稱ス。誤用ルテ無シ



銅鉄ヲ禁ルノ藥

○葶藶 龍膽 茜根 桔樓 五味子

麻黃 芍藥 知母 牡丹 香附子

藜蘆 商陸 槐花 皂莢 石榴皮

雷丸 猪苓 蒺藜 藜蘆 桑寄生

棟子 已上鐵器ノイム

○地黄 玄參 益母州 肉豆蔻

已上四種ハ銅鉄共ニイム

○辰砂 雄黃 已上二種ハ銅ハ方忌

○禁火之藥味

○青黛 犀角 茵陳 茜根 羚羊角

柴胡 木香 雲母 芒消 禹餘糧

鍾乳 朴消 滑石 雄黃 香白芷

菊花 川芎 藍葉 甘松 赤石脂

桂心 丁子 乳香 白檀 藿香

檳榔 麝香 牛黃 薄荷 紫州

沉香 胡椒 已上火ヲイム藥ナリ。

火ニアツレハ人ヲ殺モアリ。又用レ

トモ効ヲ得ルナレ誤ルヘカス

○五藏寒熱ノ藥味

△肺ノ寒ニハ干姜 半夏 紫苑

同熱スルニ貝母 車前 木通

△心ノ寒ニハ遠志 石菖 茯苓

同熱スルニ麥門 黃連 生地黃

△肝ノ寒ニハ細辛 阿膠 菊花

同熱スルニ山梔 地床 决明子

△脾ノ寒ニハ木香 枳殼 丁子

同熱スルニ柴胡 枳殼 人參



腎ノ寒ニハ杜仲 鹿茸 鬼絲子

同熱スルニハ沢瀉 草薢 石斛

凡藥味調合ノ指南様々在之中

ニモ考へ知へキハ一君二臣三佐五

使ト云フ有。世間流布ノ諸書ニ

委シ。尤藥性。能毒。詳ニシ給スベシ

○諸灸捷哥

△腦重ク頭痛目ニハリカナク。肝門

出ハ百會灸セヨ

○百會上ハニツノユノニ中ノ

△咳逆ニ喘氣ヲレツ、咽モナリ。胸ニ

氣セカバ天突ノ穴

○天突ハ咽ナル高キ骨ヨリモ

三寸下ヲアヲノケテトレ

△曲池ヨリ。二寸手サキハ三重ニテ

ノビカニセズ。レビル、ニ吉

○曲池トハカイナク節ノツレカニ

△腹モハリ。脇ニ積アリ足タルク。痺氣

ニ瘦ハ章門ノ穴

○章門ハツバサニラレ上足ヲ

△胸フクレ。公セケモアリテ食事サヘ

降ラヌ人ハ乳根ノ穴

○乳根ハ乳ヨリ一寸六分シモ

△腹堅ク。上氣嘔血。痲積上。産後ノ

惡露ヒエハ石門

○石門ハ臍ヨリ二寸下ニアリ

△水腫ニテ。臍ノマハリモ腫痛ニ。胸葉

腹モ鳴ハ水分



○オカハ臍ヨリ上ノ一寸ソ  
七ツウヨリ八セ又穴トキク  
△臍ツカへ咳逆上氣喘嗽ハ花蓋ノ穴ニ

シクフソナキ

○花蓋トハ胸ナル高キ骨ヨリモ  
五寸下ナリアラフケテトシ

△胸ツカエ咳逆短氣咽モナリ。乳ノ多  
サルハ臍中ノ穴

○臍中ハ兩ノ乳ノアイニ中ゾ  
氣ツモリカハキムスルモヨシ

△嘔血シム子脇ツカエ痛ミラリ。霍乱  
吐利ハ巨闕ナルベシ

○巨闕トハ鳩尾ノ穴ノ下ヨリモ  
一寸ニアリセツウヲセヨ

△腹ノ内ヒキツリ痛ミ不食シテ。脇ノ  
積ニ不容ナルベシ

○不容トハキウビノ下ノ一寸ニ  
墨ヲ点ジテ脇へ一寸

△身モ寒ク又ハアツクテ心ホレブルヒラ

病ハ陰都ナルベシ

○陰都トハキウビノ下ノ一寸ニ  
墨ヲ点ジテワキへ一寸

△唾ハキ。大便ケツシハラマズシ。瘀血痛  
ハ石闕ヲセヨ

○石闕ハキウビノ下ノ一寸ノ  
ワキへ五分ノ下へ一寸

△積ニハ胃ノ氣不足シ食ヲ吐キ  
腹ヲ痛ハ足ノ三里ゾ

○三里トハ膝ヨリ下ノ三寸ゾ  
目ヲ明カニ氣ヲソメクラス

△不食シテ。腹脹。腰膝筋痛三起  
居ナラズハ懸鐘ノ穴

○懸鐘ハ足ノ外踝ノ上三寸  
總骨陽補ヒトツナリケリ

△腹フクレ。上氣シ喘ギ膈ノ氣ト  
唾ニ血アル人ハ兼滿

○兼滿ハキウビノ下ノ一寸ノ  
ワキへ一寸下ノ一寸



△ハツト吐シテ。ロモユガミテアクビレテ

俄ニ瘖トナラハツツ通谷

○通谷ハキウヒノ下ノ一寸ノ  
ワキハ五分ノ下ノ一寸

△悲ミテ樂ニレスシハク呻ヲク。手足ヲ

サニラザルハツツ日眩

○日月ハキウヒノ下ノ一寸ノ  
ワキ一寸五分ノ下ノ一寸

△ハク膝痛ニ。小便シテハクリ身モヲモク

足ヒエユカヌニ陰ノ穴

○三陰ハ内踝ノ上三寸  
骨ノ内ワキクボミツアル

△不食シテ吐逆シツツツバキヨダレタレ

膿血下ラバハク齒門ノ穴

○齒門ハキウヒノ下ノ一寸ノ  
ワキ一寸五分ニツアル

△ハク嘔吐シテ。不食腹ハリ氣モツマリ

驚悸痰痛スレハハク上管

○上腕ハキウヒノ下ノ二寸ナリ  
血ヲ吐人ニ三ツツラセヨ

△手足ヒエ。積聚エツキテ物クハズ

ホガ三堅クハハク中極ノ穴

○中極ハ臍ヨリ下ノ四寸ニテ  
小便利セヌ人ハナラセヨ

△物クハズハククイテモ。又ハ吐逆シハク嘔ノ

氣アラバハク中庭ノ穴

○中庭ハ極中ノ下一寸ツ  
及胃臍ケニハツツラセヨ

△寒積ト。尿ニ血ヲシホガ三寒ハク痲

氣虛冷ハハク關元ノ穴

○關元ハホソヨリ下ノ三寸ツ  
丹田ナレバ虚ニ六千壯

△頭ニテ。寒ツ痛ニツ白クホヤ目ニイ

頰髪腫ハハク頰會

○頰會ハ唇ノ中ヨリ上へ  
五寸ナリナリニツツラセヨ

△ハク幽厥モ。滿塞リテ息ハマシハク咽ナリ



エツキスルハ璇璣ヒシキゾ

○璇璣トハ咽ノ骨ヨリ下四寸

三壯スルソアラフチテトシ

△胸サハキ。神氣ツカレテ癩癩ヒシキヤ。狂乱

スハ軌尾ナルベシ

○鳩尾トハ胸ノハツレノ蔽骨ノ

下ソヤ五分三壯ヲセヨ

△瘦ツカレ。手足モヨハク積堅ク。氣

逆上ハ氣海ナルベシ

○氣海トハ臍ヨリ下ノ五分ナリ

小腹少氣ニ寒ハ七壯

△頭風ヤミ眩ヒシキカクベ皮モハシ見ノ顛

痺前頂ヲセヨ

○前頂ハマテノ中ヨリ上へ

六寸ナルゾ三壯ヲセヨ

△疝氣ヒシキヤミ。小腹モ痛三便ヒシキレフリ赤

白帶ヒシキ下交儀ナルベシ

○交儀トハ内踝ノ上五寸

スニヨリ内へ五分ヨリテゾ

△積臍ヒシキニ赤白帶ヒシキニ食滯ヒシキス面青クハ天

樞ヒシキヲ灸

○天樞トハホツノ廣サヲ一寸ニ

定テワキヘ一寸トシレ

△五淋ヒシキヤミ。尿モ黄色ヒシキ木腫ヒシキ滿ヒシキ白血ヒシキ永

血ハ曲骨ノ宛

○曲骨トハ臍ヨリ下ノ五寸ナリ

虚ヒシキタル人ニ七壯ヲセヨ

△胸ヒシキフクシ息ヒシキタハレクテ食ヒシキニム皮ヒシキ膚

ノ痛ハ中府ナルベシ

○中府トハ咽ナル高キ骨ヨリモ

下ハ五寸ワキヘ六寸

△腰重クタ之筋ヒシキツリ寢カヘズ。ノビ

カニニスハ足ニコソアレ

○ヒツカニシラレメノ兩ノハレニ有

ニ火ヲ一ドニ三壯ヲセヨ

△痰痛ヒシキ三起ヒシキ脚ヒシキナラズクビ痛ヒシキ。子ヒシキシカレ

ズハ大沛ヒシキナルベシ



△面風ヤミ。目メクリ。血ヤミスシテス。  
バタラハ風門ヲセヨ

△咳唾血腫癆喘嗽胸ヲ多シ。寢ス食  
セズ。寒ハ肺ノ愈

△咳逆ヤ。嘔吐胸塞不食シテ。腹滿  
イ子ズ胃ノ寒ハ膈セ

△胸膈モサエテ舌ノ強ルニモ。嘔吐不  
食ハ膈ノユラセヨ 十

△氣短イカリ。脇滿弱ニエス。咳逆  
血肝ノユラセヨ 九

△腹モハリ。食事モ有テ手足瘦ル  
クホメキテヨクイ子ハ脾ヨ十一

△胸脇モ寒テツカヘテ食事ナク瘦  
ヲトロヘテ。腹ナルハ胃ヨ 十二

△廿十癩ニ。身熱シ腹ニ痛ニアリ。背  
モ腰モ強キニ焦 十三

△勞瘵ヤ。色ナク瘦テ腰痛ニ起臥  
ナズ。積ヒエハ腎

△腰セナカ。強ク重クテ又シビレ。腰痛便  
ノ堅キ膀胱 十九

右各一寸五分

△胸背ヒトツニ痛ニ子ジカズ。勞瘵  
虛冷魂ノナルベシ

○魂ノトハ。三ズイノ下皆六寸  
ツナヒヨハスハ。三ツラセヨ

△手モ足モ重ク火氣ニ物クハズ。セナカ脚  
ハ至陽ナルベシ

○至陽トハ。第七ズイノ下ニ有  
只一穴ゾ。七壯ラセヨ

△脇在ヤハレリアリキテ猶イカリ見ノ



在臍身柱ノ穴

○身柱ハ三ズイノ下一穴ゾ  
是ヤニヨトチリケナリケリ

△驚癇ヤ巖走レツ、言ヲ、ク、目ニ介  
ソラメスルハ筋縮

○筋縮ハ九ズイノ下一穴ゾ  
ウツクキテサレ五壯灸セヨ

△足跡ク腰モ重タク筋ツリテ身ノ  
カナワスハ委中ナルベシ

○委中トハヒツカミノウチニ筋  
ニツノ骨ノアイクホニツ

△頭痛ヤミ身ニ虚熱シテ愁アリ。日  
ミセフルヲハ神道ヲセヨ

○神道ハ五推ノ下ノ一穴ゾ  
物カナレクハ七ツウヲセヨ

△久癯ヤ背モ、タへ胸ツカへ虚損ニ  
子ズハ譚譚ヲ灸セヨ

○イキノ穴ハ六推ノ下ニ在リ  
皆六寸ソ五ツウナルベシ

△俯仰セズカタ胸背腰痛ニ氣ノ  
逆上ハ神堂ヲセヨ

○神堂ハ五推ノ下ヲ兩方へ  
三寸ツツ、五壯ナルベシ

△虚熱シテ頭痛寒熱ヲヨリヤミ  
腰腹痛ハ命門ヲセヨ

○命門ハ十四ノ推ノ下ニ在リ  
只一穴ソ三ツウヲセヨ

△ソノ口寒ク胸脇脹リテ嘔吐シテ。  
脊痛クハ意舎ヲ灸セヨ

○イレヤハ是九ズイノ下ヲ右左  
三寸ツツ、七ツウヲセヨ

△腴ケヤミ起フレナラス便レズリ。悪  
寒スルハ胞背ノ穴

○胞背ハ十九ノ推ノ右左  
三寸ツツ、五壯ナルベシ

△頭重ク目マハリクタク風寒ヲニ  
人ニハ後項ナルベシ



○後頂上ハニテアニ申ヨリ上ハ  
九寸五分ソシクシテ

△腰フクレレビレ腰膝筋ヲモクノヒカバ

ニズハ兼山ノ穴

○セツサシハ内踝ノ上六寸

ソシヨリ内ノ中ソガシ

△癩瘡ヤ邪氣ニヲカサレ鬼ノ痺秘灸

ノ三火ニシクフツナキ

○兩ノ手ノ太指ヲ下へ押並

爪ト肉トノカドヲ一処ニ

△風ホロシカイナモノビスカニラフズ

細クカシテハ曲池ナルベシ

○曲池トハヒヂノヲレメノ糸三也

手クビヲ胸ニ付テ七壯

△足ノ筋俄ニ痛ミヒキツリテコゾラ

ガヘリハ秘灸一壯

○舟ノスチ痛ムハ内ノ踝ヨ

外ヲ痛ム外ノクリゾ

△足痛ミノヒカニラズ足堅ク膝ト足

トノカナハヌハ巨虚

○巨虚ノ穴足ノ三車ノ下三寸

骨ヨリソトノ大スチノ内

△モ、膝モ腰尻ハキモ重クヒレビレ

スクミテカナハヌハ風市

○風市タチテヒガノ外ナル筋ノア

中指ノサキノトノクトコロヲ

△血氣ニハ右ヲカエヨ 經乱枯タルクバ

足ノ陰蹻

○陰蹻ハ足ノ内踝ノ下ノキ

クホミソアルニ壯ヲ昔

○小兒諸灸捷哥

○顛癩ハ旋毛ノ内風癩ハニテ中ヨリ寸有

○解顛ハ臍ノ上ノ五分ツ乳ヲ吞ガル天突穴

○癩癩ハ皆惡疾ゾヤ昔鳩尾ノ下ノ寸ニアリ

○瘡癩ハ足ノ大指ノ其次ノ外ノ多ホシニ世ヲ昔

○癩眼ハ手ノ谷也大指ノ次ノ骨トノモトアリ及

○結冷癩秋フルニモシズホソヨリ下ノ二寸三寸

○水腫ニホソヨリ上ノ寸ヲ夏瘦ハキトクナルベシ



○臍腫ハ臍ヨリ地ニテ立テトシ其ヲ背ノ中ニテ  
 ○急驚風ニテニ申ヨリ上ニ七寸ナルニテタウ宛  
 ○乳ノ穴中庭ノ穴ニ壯ゾ會申ヨリ下ノ一寸  
 ○截脈ハ手ノ大指ノ中ノツレ振取ノ解ノカトニ壯  
 ○スバハ肺ニ腦ノ風ナレハ眉ヨリ上ノ五寸 顙會  
 ○急喉風天突ノ穴ニ壯ゾノドノ骨ヨリ下ノ三寸  
 ○陰ハ足ノ崑崙ニ壯ゾ内踝ノアトノ五寸目  
 ○臑臑ニ血滯シテ腹モ痛ニ百會カク尾ヲ三壯  
 ○心不足五六才ニテ物イテ五推ノ下ヲ左右五寸  
 ○痘疹ノニチヨニスハ大推ノ下ヲ左右二寸半ツ  
 ○水ノニバ土推ノ下左右三寸ツツコレヤ陽剛  
 ○不食シテレカモ勞シテテラ瘦ハ土推左右五寸

○尺寸ヲ定ル法

△男ハ左ノ女ハ右ノ手ノ中指ノ第二節  
 上ノ折メト下ノ折メトノ間ヲ其公  
 ノ一寸ト定ル也折メニ内外アリ

頭指ノ方ヘ向ヒタル折メラ可取ル無  
 各指ノ方ヘ向タルヲ取ヘカラス中指  
 ヲ屈メ取ル屈スルニ口傳アリ可知

○髮際ヲ定ル法

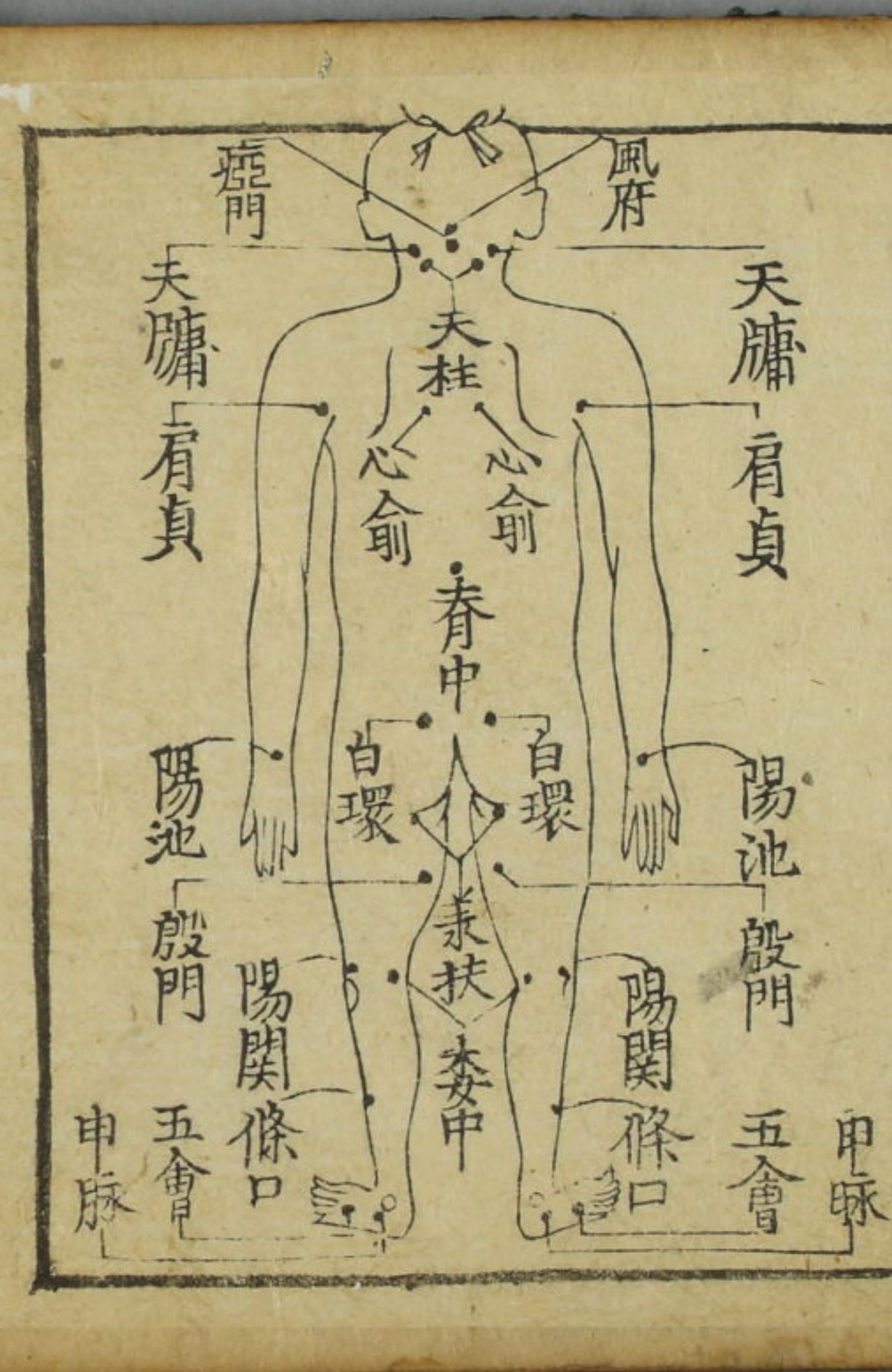
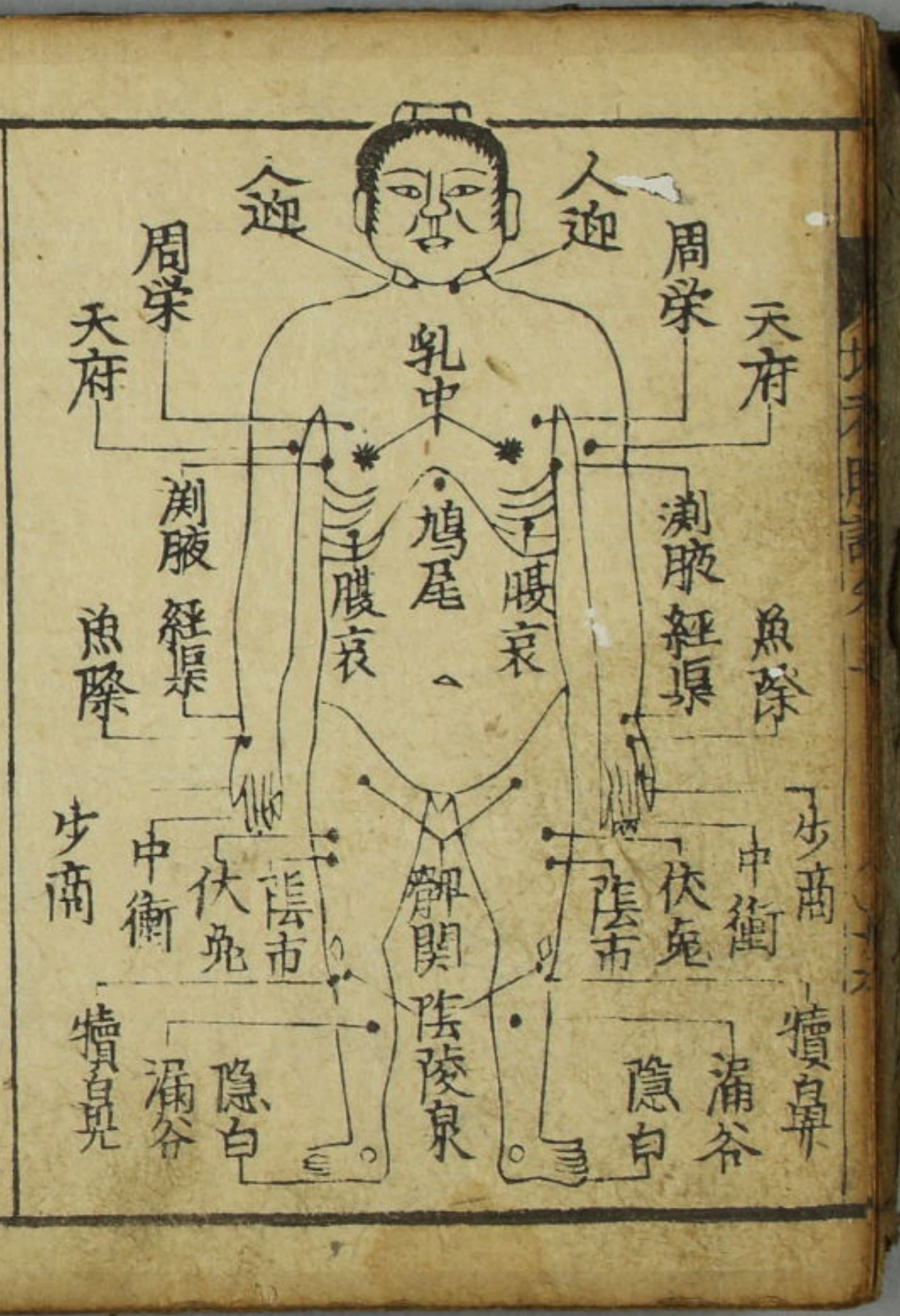
△凡人ハ髮際ノ分明ナルハ子細ナシ如  
 髮拔テ明カナヌヲハ兩ノ眉ノ正中ヨ  
 リ三寸上ヲ前ノ髮際ト定ム昔ノ  
 大推ヨリ三寸上ヲ後ノ髮際ト定也

○大推ヲ定ル法

△大推ヨリ上ニ小推一ツアリ或ハ二ツ  
 アリ又一ツモナキモアリ太ノ字ニ心ヲ  
 付テ取ヘシ又口傳アリ肩トヒトキ  
 フ大推ト定ムヘキ也

○禁灸ノ穴圖





天和三癸  
亥曆晚春日

梅村彌右齋

右禁灸凡于四寸五分諸書三出山故三  
思之文血忌人神ノ日等ヲ禁ニ記スルニ及





二頁  
一頁

抄本  
卷之五  
終



